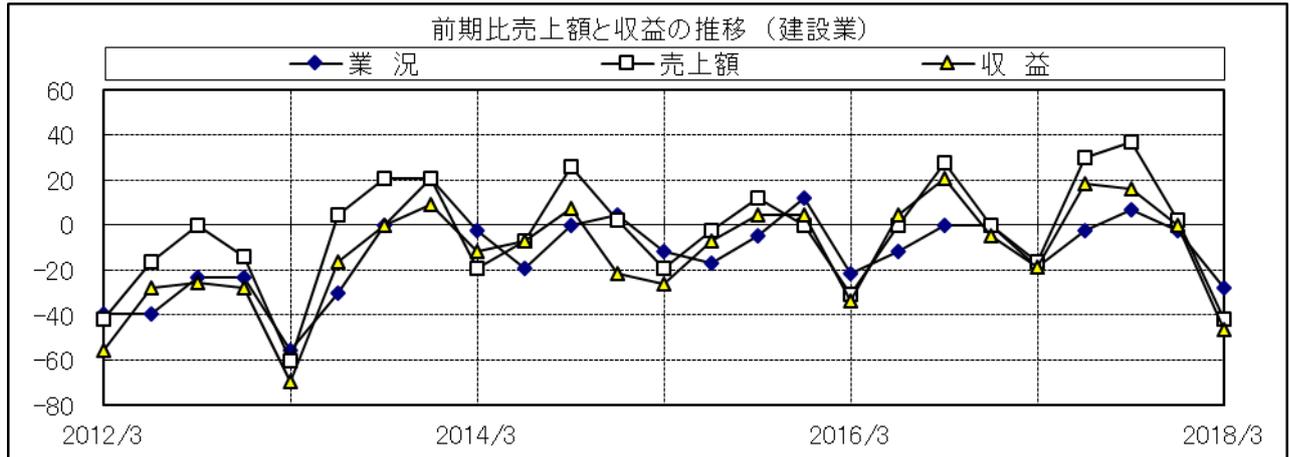


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業 況	7.0	-2.4	-27.9	4.6
売上額	37.2	2.3	-41.8	20.9
収 益	16.3	-0.1	-46.5	14.0

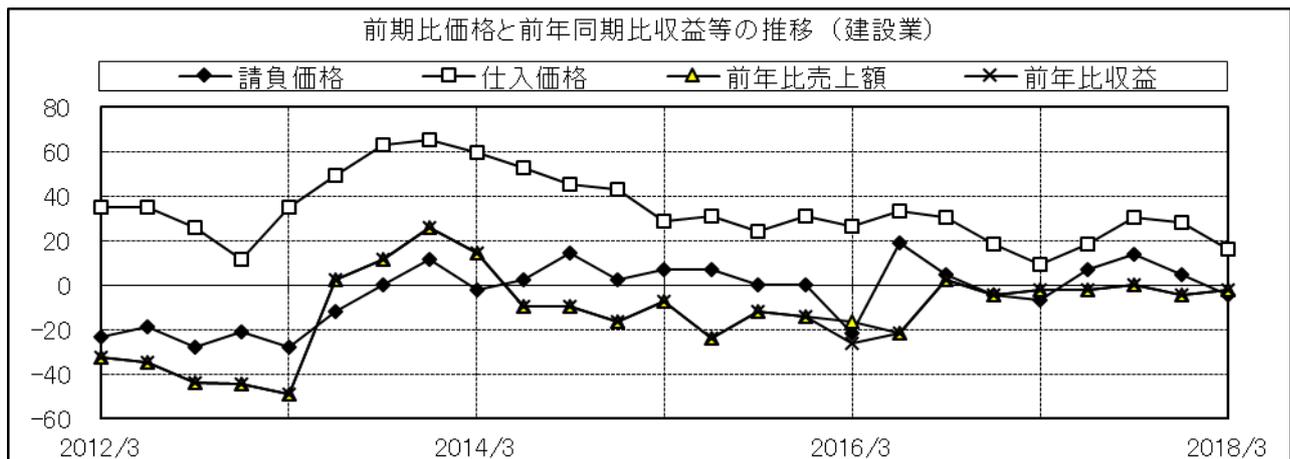
今期の業況判断 D.I. は△27.9 で、前期比 25.5 ポイント下降、前年(△18.6)比では 9.3 ポイント下降した。地区別 D.I. の水準は高い順に、広尾が一番高く、浦河・静内が同率で続き、次に類似、三石となり、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は、前期比で 44.1 ポイント下降した。収益判断 D.I. は前期比で 46.4 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
請負価格	14.0	4.6	-4.7	2.2
仕入価格	30.2	28.0	16.3	16.3

請負価格判断 D.I. は△4.7 で、前期比 9.3 ポイント下降、前年(△7.0)比 2.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D.I. は 16.3 で、前期比 11.7 ポイント下降、前年(9.3)比 7.0 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	6.9	16.3	-9.3	2.4
人手状況	-25.6	-23.3	-16.3	-18.7

残業時間判断 D.I. は△9.3 と前期比 25.6 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D.I. は△16.3 と、前期比 7.0 ポイント上昇し、人手不足感が弱まった。

□ 設備投資の動き

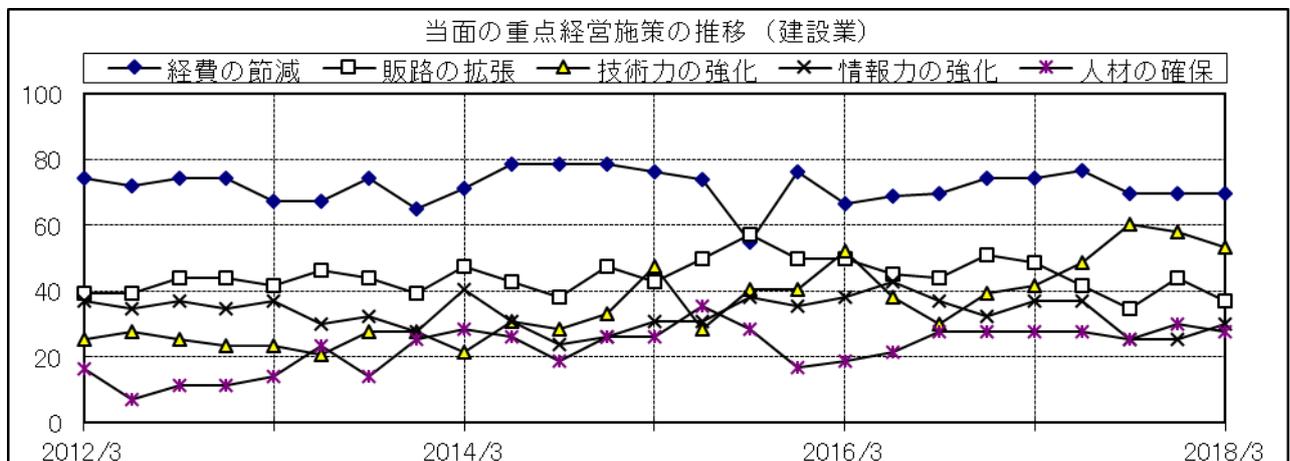
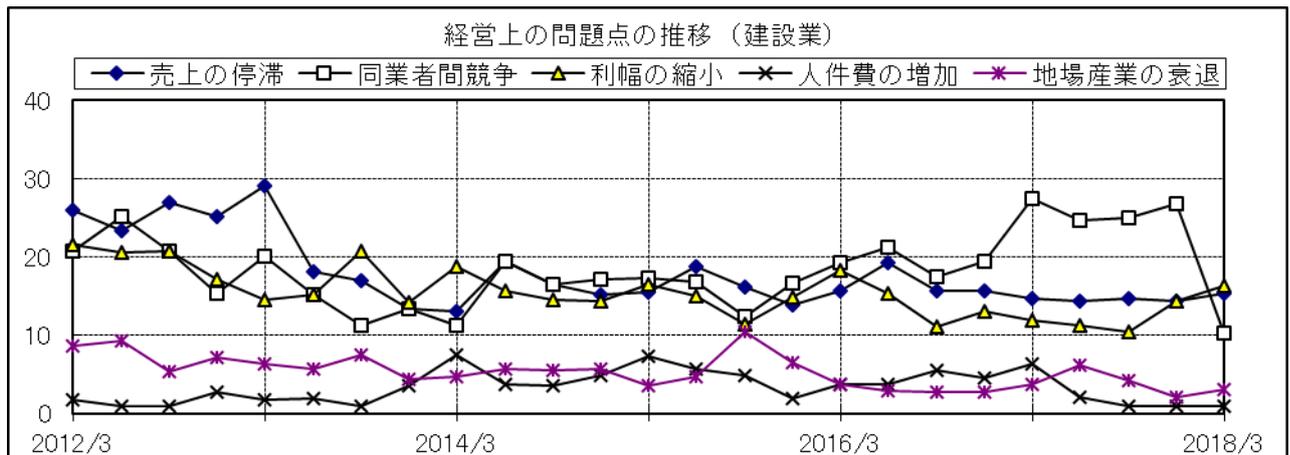
設備投資の充足感を示すD. I. は $\Delta 4.7$ で、前期 ($\Delta 4.6$) 比で0.1ポイント下降した。

設備投資実施企業割合は7.0と、前期(7.0)と同水準となった。設備投資は、前期3社に対し、3社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「同業者との競合」が26.5%と最も多く、「利幅の縮小」16.3%、「売上停滞減少」15.3%、「大手企業との競合」・「人手不足」が同率の10.2%、「下請け確保難」7.1%、「材料価格上昇」5.1%と続いている。

重点経営施策では、「経費節減」が69.8%と最も多く、「技術力強化」53.5%、「販路拡大」37.2%、「情報力強化」30.2%、「人材確保」27.9%と続いている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は4.6と、今期比32.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は20.9と、今期比62.7ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は14.0と、今期比60.5ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は2.2と、今期比6.9ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は16.3と、今期と同率の横這いを見通している。

卸売業 7企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
業況	0.0	0.0	-42.8	-14.3
売上額	28.6	14.3	-71.5	0.0
収益	28.5	0.0	-85.8	-14.3

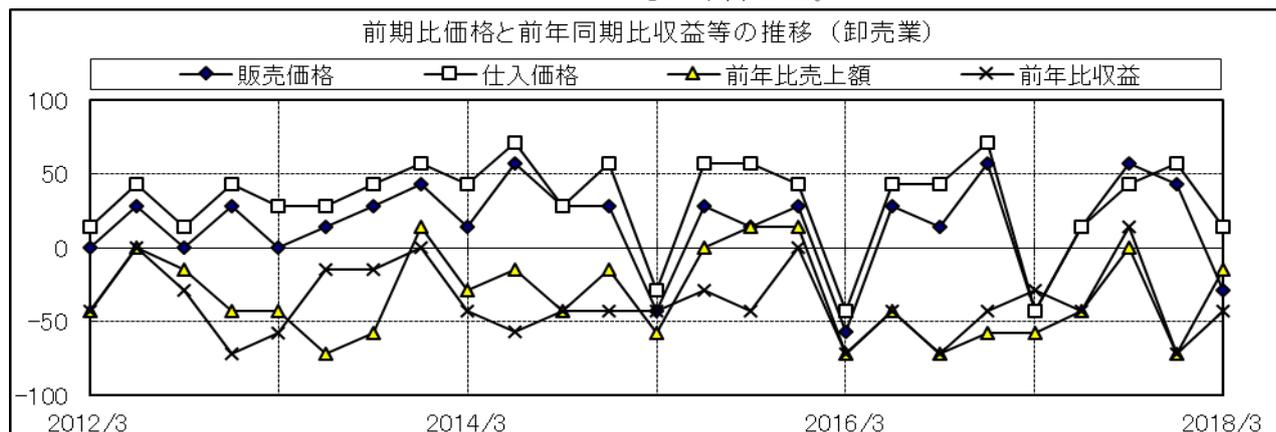
今期の業況判断 D. I. は△42.8 で、前期比 42.8 ポイント下降した。前年(△57.2)比で 14.4 ポイント上昇した。地区別の水準は、静内、浦河 様似の全地区が下降した。売上額判断 D. I. は△71.5 となり、前期比 85.8 ポイント下降。収益判断 D. I. は△85.8 となり、前期比 85.8 ポイント下降した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
販売価格	57.1	42.9	-28.6	42.9
仕入価格	42.8	57.1	14.3	42.9

販売価格判断 D. I. は△28.6 で、前期比 71.5 ポイント下降、前年(△42.8)比で 14.2 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 14.3 で、前期比 42.8 ポイント下降、前年(△42.8)比で 57.1 ポイント上昇した。業種別では、水産業は販売・仕入価格ともに横ばい。食品業は、販売・仕入価格ともに下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	7～9月 期実績	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期見通し
残業時間	14.3	0.0	0.0	0.0
人手状況	-42.9	-28.6	-28.6	-28.6

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期と同水準となり、残業時間に変動はなかった。人手過不足判断 D. I. は△28.6 で前期と同水準となり、人手不足感に変動はなかった。

□ 設備投資の動き

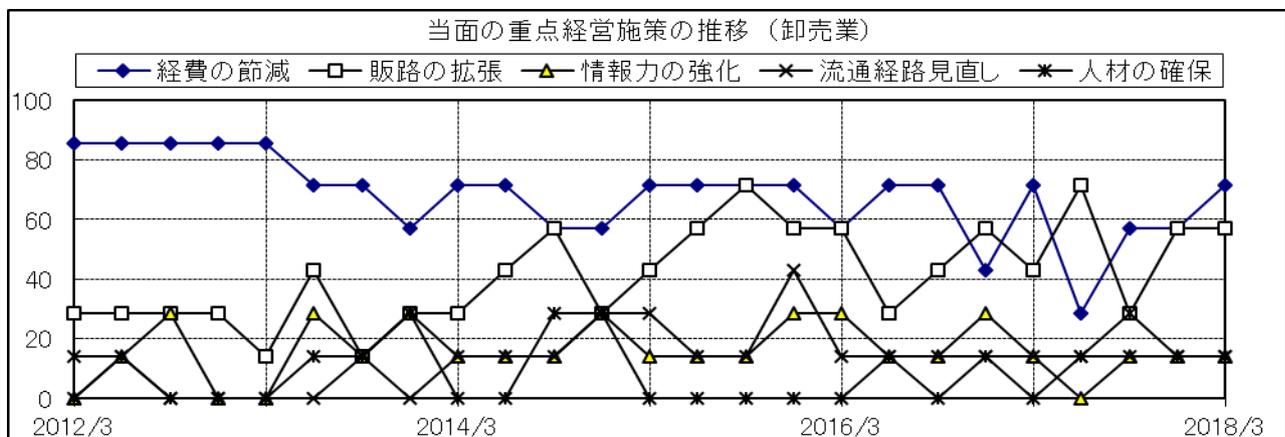
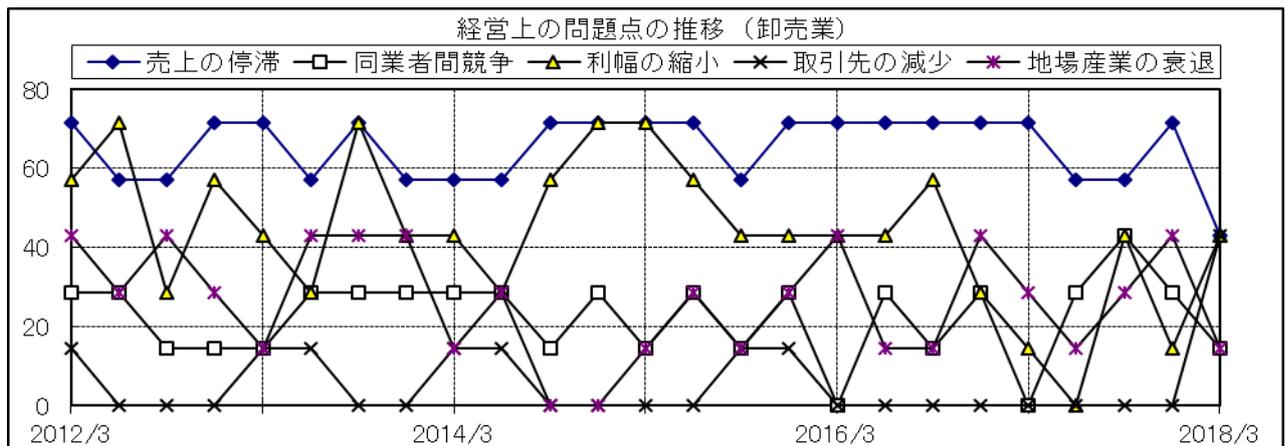
設備投資の充足感を示すD. I. は14.3で前期(14.3)と同水準となった。

設備実施企業割合は28.6で前期(28.6)と同水準となった。設備投資は、前期2社に対し、2社の実績となった。来期の設備投資予定は1社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」・「利幅の縮小」・「取引先減少」・「天候不順」が同率の42.9%と上位を占め、「同業者との競争」・「販売商品不足」・「諸経費増加」・「店舗の老朽化」・「地場産業衰退」が同率の14.3%となった。

重点経営施策では、「経費節減」が71.4%と最も多く、「販路拡大」57.1%、次に「情報力強化」・「新事業開始」・「人材確保」・「流通経路見直し」・「不動産有効活用」が同率の14.3%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△14.3と、今期比28.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は0.0と、今期比71.5ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は△14.3と、今期比71.5ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断D. I. は42.9と、今期比71.5ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は42.9と、今期比28.6ポイントの上昇を見通している。